

## Re:START 支援事業

～多職種連携によるきめ細やかなアプローチ～



### 取組みの経緯・内容

高齢者福祉、障がい者福祉を地域で実践する中で、利用者や相談者を取り巻くご家族や近い存在にある方の中に、何らかの事情で就労していない、不登校などで自宅にひきこもっている、等のお話を伺うことができました。しかし、そうした方から直接相談がない中で支援に結びつけづらい状況がありました。

そのような中、「すべての町民が孤立することなく暮らせるように」という江府町長の意向もあり、江府町役場とともに、制度につながりにくい複合化した悩みや困りごとを抱える世帯への支援に取り組むこととなりました。

令和2年度から事業を開始し、これまで10代～60代の方10名が本事業を利用されています。(令和6年8月時点) まずは対象者の把握のため法人のネットワークを活用して情報収集、当事者や家族に対し事業説明を行いながら合意形成を行います。その後、当事者が安心できる居場所、交流できる場を作ることを通じて、段階的な社会参加や就労支援を支援します。

江府町にお住まいの方を対象としており、お子様からお年寄りまで年齢は問いません。ご本人だけではなく、ご家族やまわりの方からのご相談もお受けしています。「自宅以外に居場所がない」「自宅から出たくないけど、外部とつながりを持ちたい」「仕事をしてみたいけどどうすればいいのかわからない」など悩みはあるもののどこに相談したらいいかわからない…そういった方々やご家族の方からのご相談をお伺いしています。

本人への直接的なアプローチはなかなかハードルが高いため、まずは家族から本人の趣味等を聞き取り、本人の興味関心のある内容をメールしたり、検診等の情報提供から少しずつ関わりを作ったりしています。また、尚仁福祉会から相談支援専門員(保健師・公認心理師・介護福祉士)、江府町役場から(福祉事務所の社会福祉士、保健師)が月に一度支援会議を行って一人ひとりに関わっています。ケース共有や経過、情報共有を行い多職種での連携、様々な視点からのアプローチを検討、実施しています。

### 取組みの成果

- ・新型コロナワクチン接種について保健師に相談があり、支援を必要とする方の把握につながり、ご家族が抱えていた思いを少しずつ話していただく中で信頼関係を築くことができました。コロナ禍だからこそ見つけることができた多職種連携によるきめ細やかなアプローチだと感じます。

### ○活動データ

- ・実施頻度：随時
- ・取組みに関わる人員：職員

- ・「在学中はスクールソーシャルワーカーが子どもに関わっていたが、卒業後は相談先がなく困っていたのでこのような相談先ができてありがたい。」という声もあります。ライフステージに捉われない、切れ目のない支援ができるのは強みです。
- ・障がいのため家から出かけることが難しい方でしたが、家にいてできることがあれば、仕事をしたいとの思いをもっておられました。就労継続支援B型の在宅支援でパソコン作業ができることをご紹介し、少しずつ時間を増やしながら取り組んでくださいました。この経験を通して、将来これだったらできるかもしれない、と本人さんにとって自信や可能性となればと思いつながり関わっています。
- ・年に一度地域住民へ普及啓発、広報を行っています。令和4年度にはとっとりひきこもり生活支援センターの山本理事長をお招きして民生児童委員の方への勉強会を実施しました。この勉強会をきっかけに、色々な働き方があることを当事者の方に伝えてくださり、相談に来てくださった方もおられます。

## 活動者コメント

- ・まず大切にしているのは信頼関係づくりです。今までの背景やご家族の思い、価値観、どのような生活をしてこられたかなどを丁寧に聞き取り把握するよう努めています。安心して本当の気持ちを話していただける存在になればと思います。多職種で様々な視点からアプローチできるのもチーム支援の強みだと感じます。
- ・ひきこもりに対する偏見の払拭や正しい知識の普及により、理解があり相談しやすい、誰にとっても住みやすい地域になればいいなと思います。
- ・「寄り添う」とは言葉にすると簡単ですが、本当に私自身はできているのだろうか、と日々問いながら関わっています。困ったときに相談できる、この人だったら話してみようか、と思ってもらえる存在になれば、という思いで取り組んでいます。
- ・包括の部署もあり、分野に関わらず広く相談を受け付けられるようになっていきます。支援策を考える際に、自身の職種だけではどうしても視野が狭くなりがちなため、多職種、多視点から意見をもらえていい刺激になっています。
- ・複合化した世帯の課題が多いため個別に応じた支援がより一層必要となっています。一部署、一支援で出せる引き出しがとても多く頼もしいです。この相談者の方であればこの職員、という風に相談者にあったより良い支援ができるようにマッチングをしています。今後も強みを生かし、大切にしながら個別対応できたらと考えています。

## 利用者の声

- ・誰にも話せることじゃないと思っていたが、抱えていた思いを聞いて寄り添ってもらえるのは嬉しい。
- ・卒業後でも相談できる場があるのは心強いです。

社会福祉法人 **尚仁福祉会**

社会福祉法人 尚仁福祉会

本部／鳥取県日野郡江府町久連7

相談支援事業所 江美の郷／右記住所

福祉交流センター江美の郷内

電話番号

(本部) 0859-75-3626

(江美の郷) 0859-72-3210

法人HP／<http://www.syoujin.or.jp/>

他に実施している公益的取組み：えんくるり事業、居住支援法人等

